

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

時代の変化を受け入れる

発行者：牧野 F P 事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

<第 411 号の目次>

■ 今週のテーマ

時代の変化を受け入れる

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、

今週のテーマからはじめます。

*:**

■ 今週のテーマ

時代の変化を受け入れる

*:**

厚生労働省から、
「新しい生活様式」の実践例が、
サイトにアップされています。

[厚生労働省（「新しい生活様式」の実践例）より](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

この例を参考にしながらも、
新型コロナウイルスの感染が収束した後に、
従来のような生活に戻せばよいこと、
収束後も続けていった方がよいこと、
その判断は、
個々人がすべきことであります。

そして、新型コロナの感染が収束したとしても、
「新しい生活様式」の内容のいくつかは、
私たちの生活に身についた習慣として、
変えることができなくなっているかもしれません。

そこで今回は、
「新しい生活様式」に限らず、
私たちが既に受け入れている、
社会の変化を確認しながら、
将来の家計への対応について考えていきます。

社会の変化に対応している

現在、市中銀行の定期預貯金の金利は、
年利 0.001%前後です。

年利 5.0%くらいの時期もあった、
1990 年前後のバブル期から、
すでに 30 年くらい経っています。

さすがに、
その当時の預金金利にいつ戻る？
戻ってくるまで、取りあえず
普通預金に入れておく。

と話をする方はいなくなりました。

もっとも、一般的に、
バブル期以降現在に至るまで、

物価が大幅に上昇することはなく、

横ばいの状態か、

デフレといわれる、
物の価格が下がる傾向が続き、
給与も大幅に上昇することのない状態です。

そこで、バブル期のように、
預貯金をすれば資産が増える状況もなくなり、
その預貯金をする原資もない、
家計の状況にある家庭もあるようです。

では、現在のように、
定期預貯金をしておくだけでは、
お金は増えない状況で、
どのように貯蓄額を増やしているのでしょうか。

一部の方は、個別株式や投資信託での運用に、
資金を回しています。

個別株式や投資信託は、
定期預貯金と同じ金融商品ではありますが、
元本保証のない金融商品です。

元本保証のない金融商品での
運用に馴染めない方は、

たとえ金利が付かなくても、
現金を安全に保管しておくために、
従来の定期預貯金で、
運用というより、
銀行に資金を預けて、
貯蓄を増やしている方もいるようです。

このように、金利の変動を例にとっても、
このような社会の変化に対応しながら、
私たちは、
生活を続けていくことができるのです。

資産を増やすのには時間も必要

では、金融商品でお金を増やしていくには、
これからはどうしたら良いのでしょうか？

iDeCo(イデコ・個人型確定拠出年金)や、
NISA(ニーサ・少額投資非課税制度)
などの現在施行されている施策である、
税制優遇制度を利用して、
資産を増やしていく方法があります。

また、個人向け国債や
元本が保証されている一部の保険商品などの、
銀行の預貯金より金利が少しでも高い金融商品で、
運用する方法もあります。

ただし、
元本の保証されている金融商品の金利は低く、
その金融商品で収益を得るより、
長期間貯蓄を続け、
そのお金を貯めておく器の機能に利用する。
と考えた方が合理的です。

なお、ここでは、
各金融商品内容の詳細の説明はいたしません、
多くの金融商品は、
投資する資金、つまり元本が、
必ず戻ってくる保証はありません。

従って、その金融商品の内容を知り、
わからないことは、
証券会社や銀行で聞いて、

運用後に、
投資したお金が戻ってこなかった。
そんな商品とは知らなかった。
といったことがないように、
その金融商品を理解してから、
購入することが必須です。

そのためには、
その金融商品の内容を熟知する、
時間が必要です。

時代の変化と目標

少し話は横道に反れますが、

こここのところ、毎年のように、
さんまの不漁や
土用の丑（どようのうし）の時期になると
その年のうなぎの価格が報道されています。

しかし、親しいスーパー経営者の方の話では、
消費者の購買動向として、
さんまやうなぎに限らず、
さかなの消費量が減ってきたそうです。

また、すいかも重いので、
一口大にカットしたすいかが売れるようですし、
ぶどうでも、
種がなく皮ごと食べられる品種が、
重宝されているようです。

つまり時代ともに、
行動様式は変化しているのです。

私たちは、冒頭のような
「新しい行動様式」でも意識的に、
また無意識のうちに、
社会の変化として対応しているのです。

このように、
私たちは社会の変化に対応できることを踏まえて、

ここからは、
老後の生活の準備を例に考えてみます。

収入が現役の時代より減る、
確実に老後はやってきます。

老後よりは収入の余力があるだろう現役中に、
どのように準備すれば良いのでしょうか？

必ず（１）と（２）をすることです。

- （１）ご自身の老後の生活をイメージする
- （２）そのための資金を算出

次に、具体的な資金を捻出する準備をします。

例えば、毎月〇〇万円ずつ、

定期預金で積立てをすると決めれば、
投資信託などには、
わき目も触れず実行することです。

今後、現役中に収入が減るようなことがあれば、
状況を把握して、

従来の家計支出のうち、
別の支出が減らせるようであれば、
その支出項目を調整して、
老後の資金を貯めていくことを優先します。

老後資金用の貯蓄額を減らす場合は、
その後の貯蓄計画を、
早期に練り直していきます。

人生は、行動の軸を決めておき、
必要に応じて変化に対応する。

何も老後の生活に限ったことはありません。

人生、現役中から、
この繰り返しとってよいでしょう。

従って、私たちは、
いつの時代でも社会の変化に対応できるし、
順応しているのです。

*:
■「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ
*:

時代の変化には、

生涯対応することが必要で、

人生の軸を決めておくと、

変化に対応でき、

それなりに快適な生活が送れるでしょう

■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 17 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員 (R)」は、どこまでも行きます。

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

*:

■編集後記

*:

時代の変化は常にあり、

その変化の波が、
大きいか小さいかの違いはあります。

また、ご自身に関わることか、
関わらないことか、

その見極めは常に必要で、

いかに適切に対応するかが大切です！

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。
こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
